

平成 1 5 年度

第 4 回区政モニターアンケート
調査報告書

《 危 機 管 理 に つ い て 》

平成 1 6 年 2 月

足立区政策経営部広報課

目 次

調査の概要	2
要 旨	4
問 1 危機と感ずること	5
問 2 危機管理室に対する期待	5
問 3 災害に対する備蓄物品	6
問 4 現在まで備蓄できなかった（しなかった）理由	7
問 5 近隣の要援護者の救援や救助に協力できること	7
問 6 災害時のペットの扱い	8
問 7 自然災害への対策について（記述）	8
問 8 住んでいる地域の治安	16
問 9 住んでいる地域の治安が悪いと思う理由	16
問10 治安悪化の原因	17
問11 住んでいる地域の今後の治安についての不安	17
問12 防犯のためにしていること	18
問13 児童生徒に対して、家庭で行うことが必要な防犯対策	18
問14 地域の治安を保つために効果的な、地域でできる取り組み	19
問15 安全・安心なまちづくりについて（記述）	19
調 査 票	29

1 調査の概要

この報告書は、平成15年度第4回区政モニターアンケート「危機管理について」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

区政モニターの意見を聞き、防災や防犯などの「危機」について、今後の事業推進を検討する上での参考にさせていただくことを目的として調査を行いました。

3 実施時期

平成15年12月12日～12月26日

4 対象者数、回答者数

対象者 193人 回答者 190人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

・郵便 141人 ・インターネット 49人

6 回答者の構成

（1）地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	4	8	12	2	7	9	6	4	10	3	7	10	4	11	15
インターネット	4	4	8	1	2	3	0	3	3	3	2	5	0	4	4
合計	8	12	20	3	9	12	6	7	13	6	9	15	4	15	19

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	12	13	6	6	12	2	7	9	2	5	7	3	10	13
インターネット	6	4	10	0	1	1	1	3	4	0	1	1	2	4	6
合計	7	16	23	6	7	13	3	10	13	2	6	8	5	14	19

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	6	6	12	1	7	8	2	9	11	42	99	141
インターネット	0	2	2	0	1	1	0	1	1	17	32	49
合計	6	8	14	1	8	9	2	10	12	59	131	190

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	18	21	4	38	42	6	16	22	1	11	12	20	14	34
インターネット	2	5	7	5	19	24	5	5	10	2	3	5	3	0	3
合計	5	23	28	9	57	66	11	21	32	3	14	17	23	14	37

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	8	1	9	0	1	1	42	99	141
インターネット	0	0	0	0	0	0	17	32	49
合計	8	1	9	0	1	1	59	131	190

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	4	15	19	0	1	1	7	9	16	0	60	60	13	7	20
インターネット	0	5	5	0	0	0	3	1	4	0	18	18	10	7	17
合計	4	20	24	0	1	1	10	10	20	0	78	78	23	14	37

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	18	7	25	42	99	141
インターネット	4	1	5	17	32	49
合計	22	8	30	59	131	190

7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。

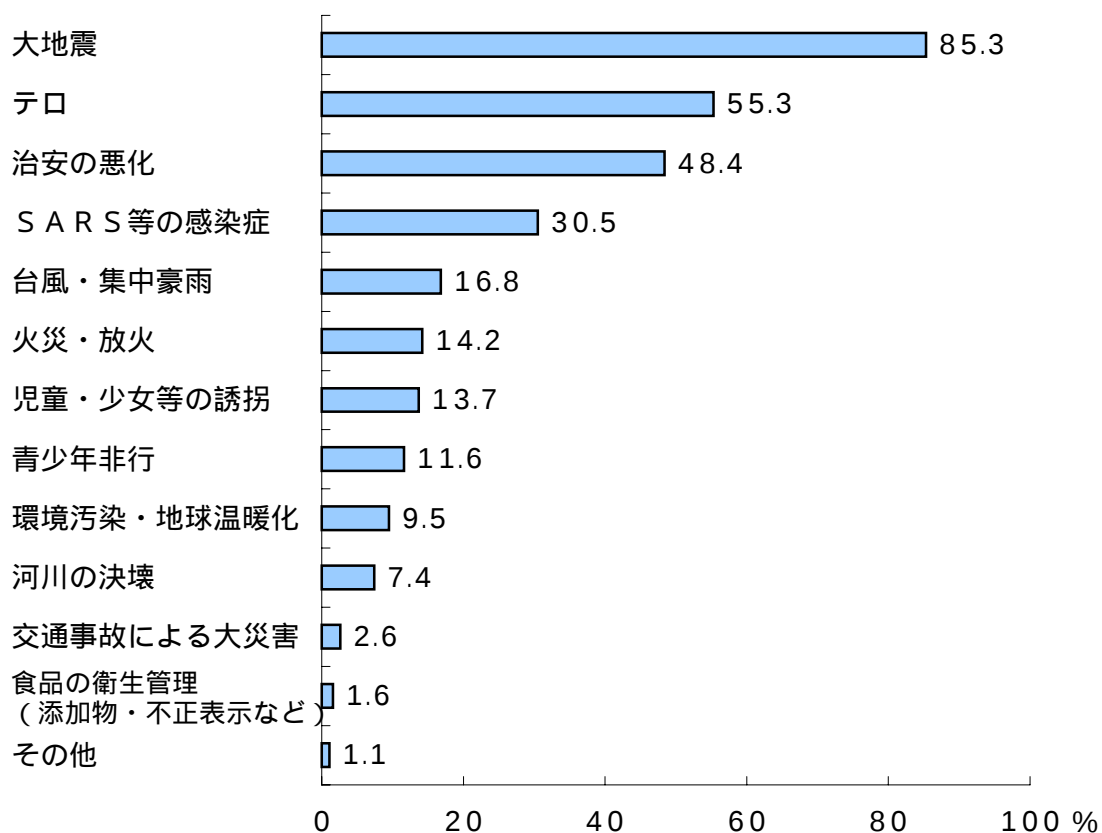
記述意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しました。

要 旨

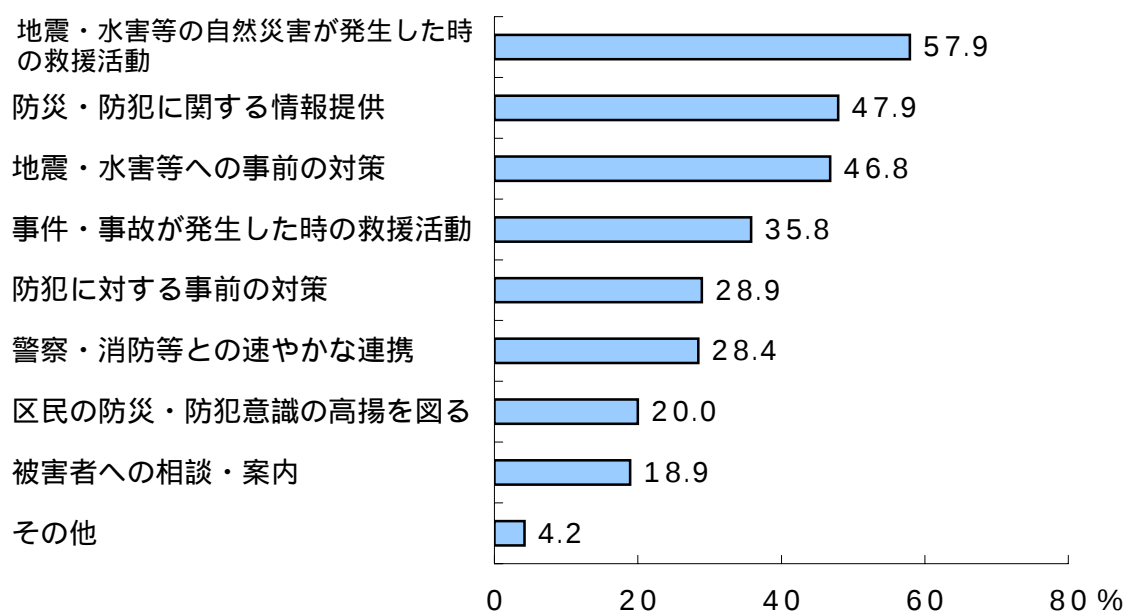
* 特に指定がない限り190人のモニターに聞きました。

- 問 1 危機と感ずること（複数回答）
「大地震」 85.3%（162人）
「テロ」 55.3%（105人）
- 問 2 危機管理室に対する期待（複数回答）
「地震・水害等の自然災害が発生した時の救援活動」 57.9%（110人）
- 問 3 災害に対する備蓄物品（複数回答）
【現在備蓄している】「懐中電灯」 72.6%（138人）
【今後備蓄を考えている】「食料品」 50.0%（95人）
- 問 4 現在まで備蓄できなかった（しなかった）理由（複数回答、174人中）
「備蓄が必要であると思うが、
ついでになってしまう」 64.9%（113人）
- 問 5 近隣の要援護者の救援や救助に協力できること
(1)要援護者の安否の確認 「何とかできそう」 44.7%（85人）
(2)火災発生時の初期消火活動 「何とかできそう」 43.2%（82人）
(3)避難誘導の手助け 「何とかできそう」 44.2%（84人）
(4)ケガ人への応急手当 「わからない」 34.2%（65人）
(5)病院への搬送 「わからない」 33.2%（63人）
(6)倒壊家屋からの救出救助 「わからない」 31.6%（60人）
- 問 6 災害時のペットの扱い
「ペットを連れている人と連れていない人
とは分けて、別の教室で避難する」 35.8%（68人）
「ペットは校舎には入れないで
校庭の一部分に避難させる」 34.7%（66人）
- 問 8 住んでいる地域の治安
「治安は悪い方だ」 39.5%（75人）
- 問 9 住んでいる地域の治安が悪いと思う理由（複数回答、90人中）
「空き巣・ひったくりが多い」 63.3%（57人）
- 問10 治安悪化の原因（複数回答）
「家庭・学校などのしつけや教育の問題」 61.1%（116人）
- 問11 住んでいる地域の今後の治安についての不安（複数回答）
「侵入窃盗（ピッキングなど）」 85.3%（162人）
「路上窃盗（ひったくり、車上狙いなど）」 75.8%（144人）
- 問12 防犯のためにしていること（複数回答）
「暗い場所や人気のない所は迂回するようにしている」 67.4%（128人）
- 問13 児童生徒に対して、家庭で行うことが必要な防犯対策（複数回答）
「夜間子どもだけで外出をさせない」 70.0%（133人）
- 問14 地域の治安を保つために効果的な、地域でできる取り組み（複数回答）
「地域で防犯・防火パトロールを行う」 69.5%（132人）
「近隣の人との挨拶や子どもに対しての声かけを行う」 63.7%（121人）

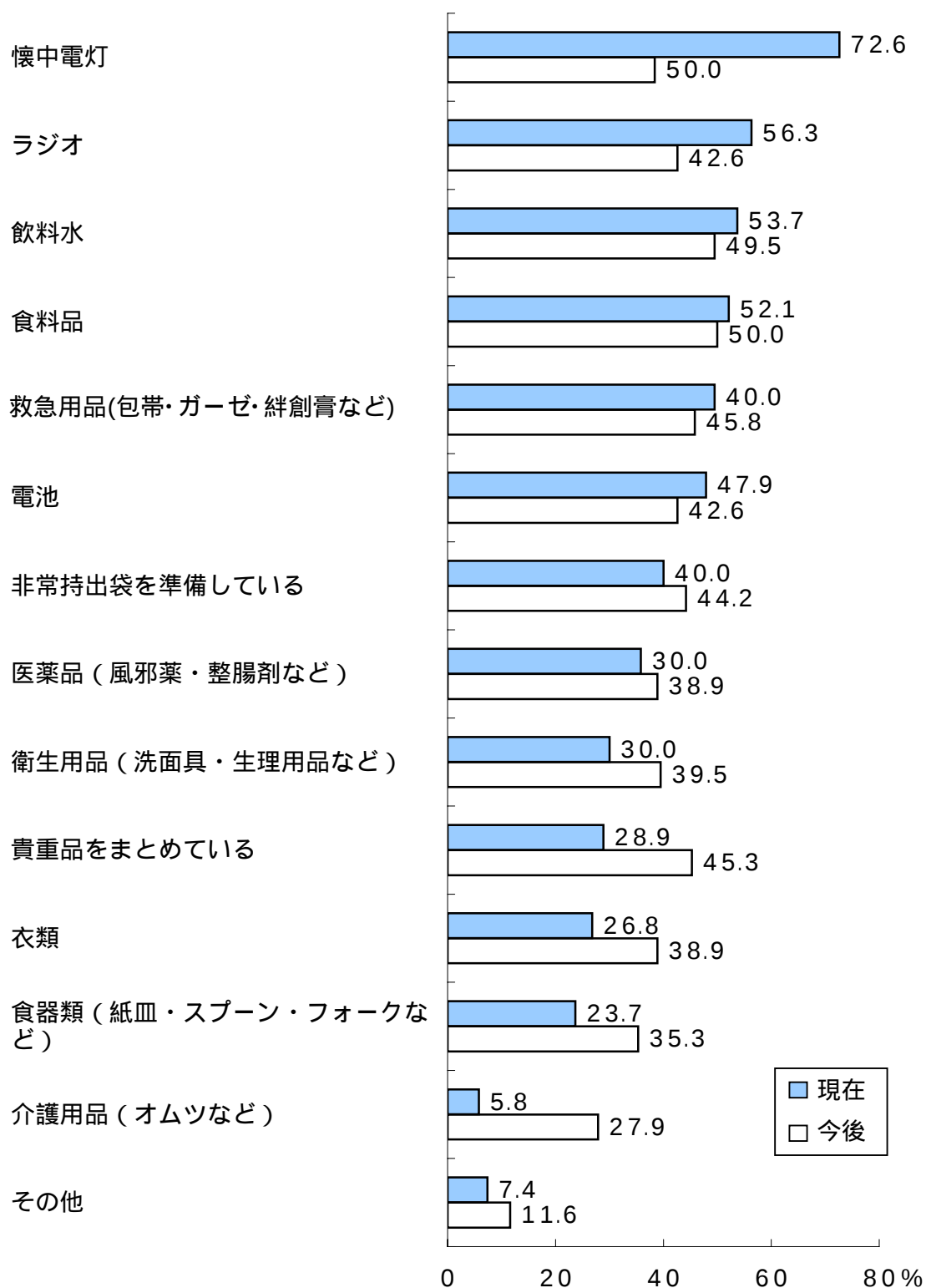
問１ 問１ 最近は「危機管理」という言葉が、一般的に使われています。特にあなたが「危機」と感じることはどのようなことですか。次の中から３つまで選んでください。（○は３つまで）



問２ 平成１５年４月、区は危機管理室を新設しました。あなたは、危機管理室に対して、特にどのようなことを期待しますか。次の中から３つまで選んでください。（○は３つまで）



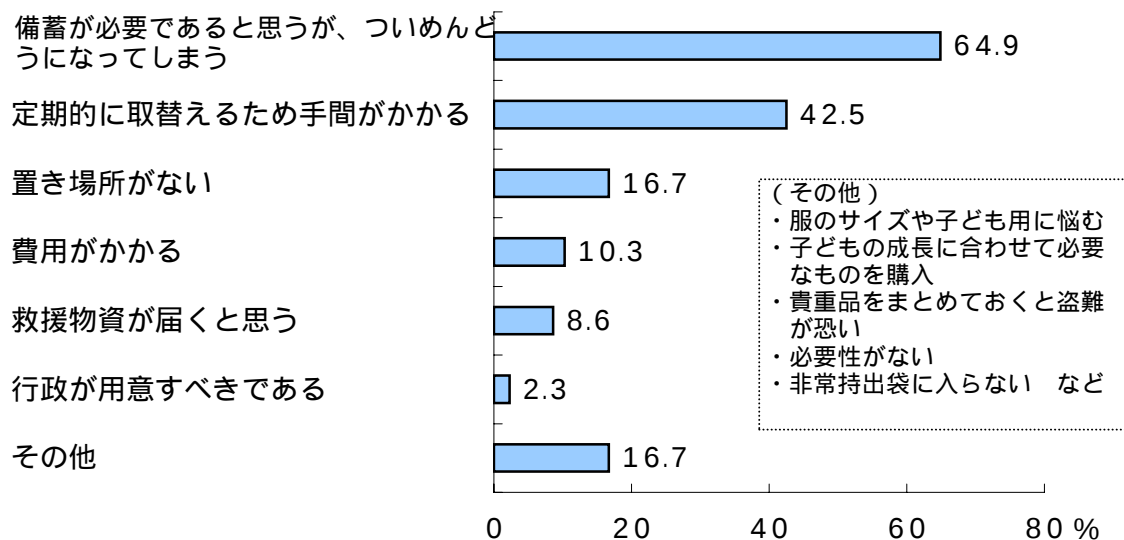
問3 公あなたは、地震などの災害に対して、現在どのような物品を備蓄していますか。
また、今後どのような物品を備蓄しようと考えていますか。次の品目について、「現在」「今後」の該当する欄に○をつけてください。なお、選択肢(14)「その他」を選ばれた方は、その内容を記述してください。



問4 問3で、「今後」の欄のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

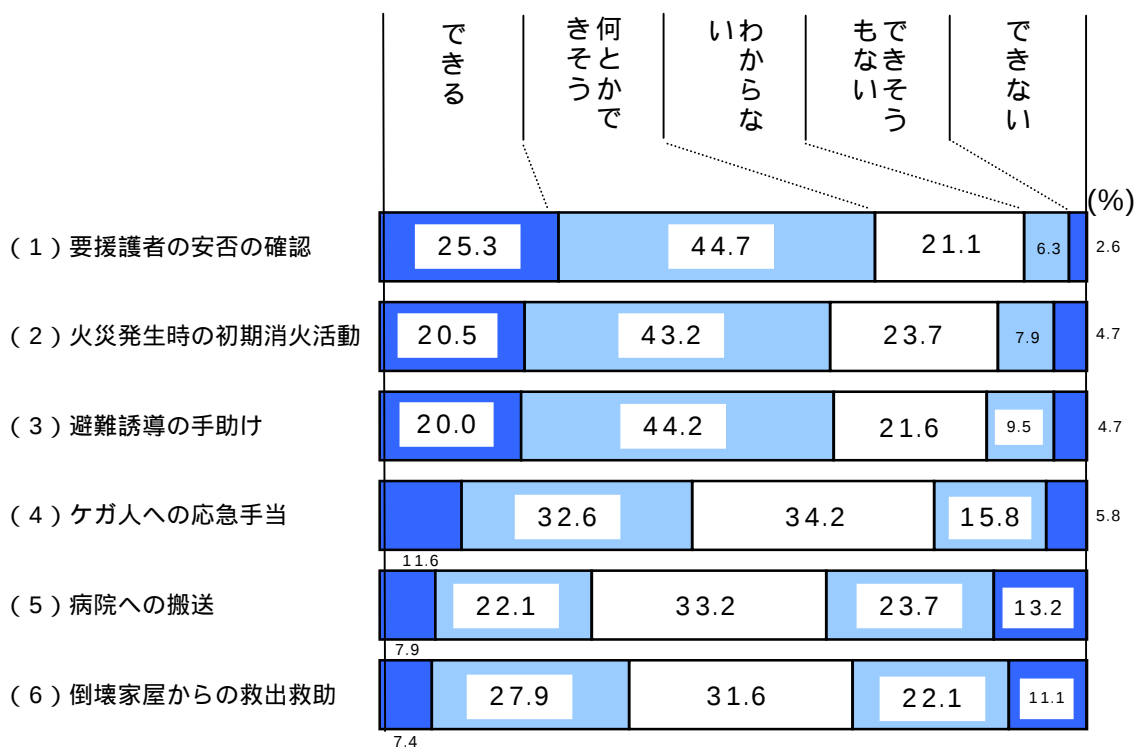
現在までその品目を備蓄できなかった（しなかった）主な理由は何のようなことですか。次の中から2つまで選んでください。（○は2つまで）

174人中

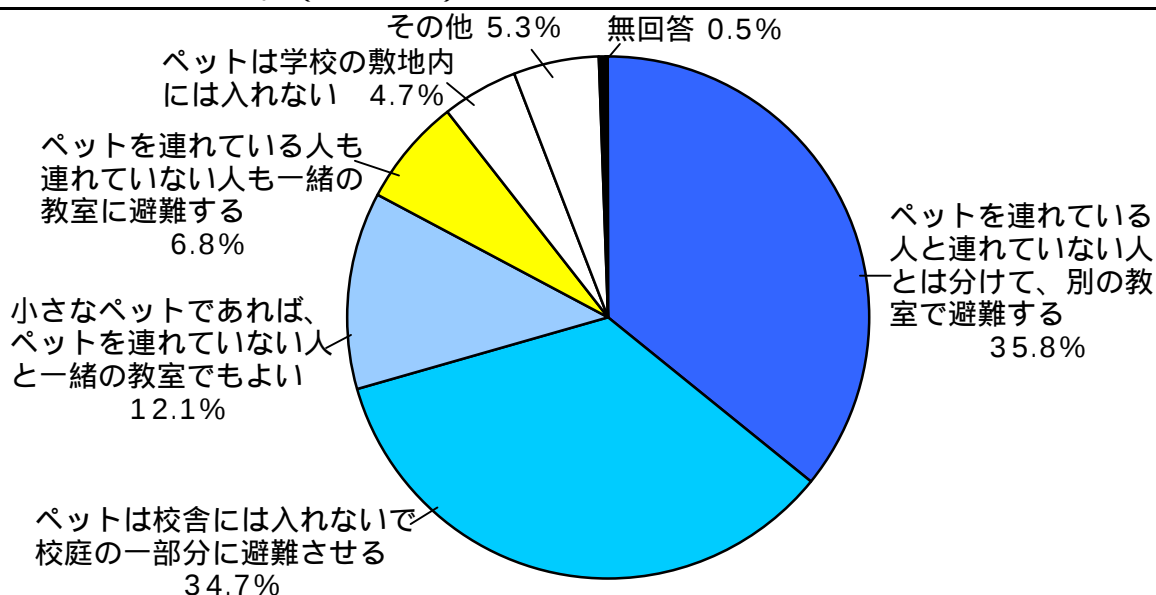


問5 全員の方にお聞きします。

大震災が発生した直後は、要援護者（高齢者・障害者・ケガ人など）の救助が必要となります。あなたは、あなた自身や家族が安全であれば、近隣の要援護者の救援や救助に協力できますか。次の項目について、それぞれ該当する欄に○をつけてください。



問6 災害時の避難所生活を考えた場合、ペットに対する問題が発生します。災害時のペット（ここではイヌ・ネコに限定します）の扱いについて、あなたはどのようにお考えになりますか。次の中から1つ選んでください。なお、避難所は小中学校としてお考えください。（○は1つ）



問7 足立区の自然災害（地震・水害など）への対策について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。（自由回答）

主な意見・要望

20代 男性 / 区民が日常的に、自然災害についてもっと認識を持つべきだ。区は、消防や警察から情報を得て、正確なことを区民に伝えてほしい。

20代 男性 / 自然災害の際にどうすればいいか、区民にもっと知らせてほしい。

20代 男性 / 川が多く古い民家が多いにもかかわらず、災害に対する区民の危機意識が低い。火災や水害が起こった場合の対応について行政はもっとアピールが必要だ。

20代 女性 / いざという時どこへ避難すればよいのかわからない、水害などがあつた時どのように対応してくれるのかわからないので心配だ。具体的な情報をわかりやすい形で教えてほしい。今回同封の冊子はわかりやすいので各家庭に配布してほしい。

20代 女性 / イラクのことが騒がれており北朝鮮でも怪しい状況が続いている。そちらの方が心配だ。

20代 女性 / あらゆる場面を想定して、行政としてできることはしっかり準備してほしい。

20代 女性 / 家族の安否を早く知りたい。連絡を早めにとれたらよい。

20代 女性 / 火事の時に消防車が入っていけない道路の狭い住宅街を整備してほしい。

20代 女性 / 関原地区の防災マップを見てとてもよいと思った。とても心強い。今後、多くの地域でこのような防災生活圏が増えることを期待する。

20代 女性 / 元淵江公園は避難場所に指定されているが、水飲み場の排水溝が4, 5年前から詰まりっぱなしで不衛生だ。指定されているところの整備くらいしっかりやってほしい。また、本木新道沿いの商店は道に物を置きすぎる。危険なのでなんとかしてほしい。

20代 女性 / 荒川の決壊対策に力を入れてほしい。

20代 女性 / 毎年、全員に今回同封された冊子を配ったほうがよい。大型車が通っただけで家がゆれる。建築士による希望者宅の検査をしてもらいたい。大地震はすぐそばまでできているので、区による保険があるとうれしい。

20代 女性 / 災害は、いつどこで起こるかわからないので、子どもから高齢者までもっと危機感を持つべきだ。避難場所や物品の備蓄など、あらゆるところで、区からも情報を提供するべきだ。足立のケーブルテレビなども充分使えるし、テレビで報道してもよい。

20代 女性 / 大地震の際、どこへ逃げれば安全なのかよくわからない。

20代 女性 / 大地震時に高齢者が気になるのは常備薬のこと。処方箋の管理について説明が必要だ。各自ピーナッツなどの豆類を用意しておくとうい。腹持ちがよい。

20代 女性 / 避難所がどこかよくわからない。この地域はどこへ、このマンションはどこへというのを、日頃目にするところに書いてほしい。

20代 女性 / 民間の社宅に住んでいるが、築年数が数十年と古いので、どのくらい耐えられるのかわからない。一般の一戸建て住宅と同じように、地震に対しての強度を調べる方法があれば調べてほしい。

20代 女性 / 幼い子どもがいるので、地震予知サイトなどを毎日確認している。区として、もっと積極的に対策準備をしてほしい。地震予知サイトも私的なものの方が当たる率も高く資料も多いので、ぜひ目を通してほしい。今回もらったパンフレットは、全家庭に配布してほしい。

20代 女性 / 龍田町はワースト5に入るとテレビでやっていた。住民でも知らない人は多い。何がどうなるのか、危険なことを事前にもっと知らせるべきだ。

30代 男性 / 災害に対する啓発活動が積極的に行われていない。区の取り組みはどのようになっているのか。積極的に広報を利用し、防災グッズの販売や紹介を実施してはどうか。

30代 男性 / 足立区は荒川低地に属するわけであり、水被害だけでなく大地震の液状化対策として、スーパー堤防のような安全地帯をつくることはできないか。

30代 男性 / 地震や水害に対して対策を特に強化してほしい。地震のハザードマップと各地区の避難場所への地図を作成し、各家庭に配ってほしい。

30代 男性 / 物品の備蓄のための講座があるとよい。

30代 女性 / 近所には比較的広い公園が多いので避難しやすい。

30代 女性 / 見て見ぬふりの人が増えている中、地震で助けが必要な時に周りの人が助けてくれるか心配だ。

30代 女性 / 区内放送で行動を指示してほしい。

30代 女性 / ペットの問題があることを知り不安になった。ペットを飼っていない我が家にとっては、ペットと同じ教室に避難することは考えられない。また、避難時、乳幼児のいる家庭だけの教室を用意してほしい。

30代 女性 / 環状7号線の地下など、昔の下水道がそのままになっていると聞いたことがある。地盤のゆるい場所を調査して公表し、早急に対処してほしい。防災まちづくり計画は根本的な部分が欠落している。

30代 女性 / 近くに多くの川が流れているので、決壊したらどうなるだろうと心配だが、自分では対策していない。シュミレーションがコンピュータでできるだろうか。

30代 女性 / 具体的なことは何も知らない。大きな地震や水害などがあったらどうなるのか。たぶん近くの学校に一応行くと思うが、実際その状態になったら、周りの人は誰もどうすればよいかわからない。

30代 女性 / 現在、転倒防止グッズなどを配布してもらっているが、たまには避難訓練を行ってもよいのではないか。

30代 女性 / 荒川決壊による浸水が心配だ。震度がいくつまでだとこれぐらいの浸水被害が考えられるなど、具体的な調査情報を区民全体が、知識として持っているといい。

30代 女性 / 荒川の水害対策を知りたい。近所の人達への避難などは伝わっているのか。事前に知らせてほしい。

30代 女性 / 荒川河川敷やビルの多い駅はどのような被害が予想されるのか、その時どうしたらよいのか、広報などに書いてほしい。

30代 女性 / 荒川土手も避難所になっているが、津波などの二次被害は大丈夫か。

30代 女性 / 今回送ってもらった冊子は初めて知ることも多く参考になった。年に1度だけでなく、ケーブルテレビやチラシなど、もっと日常的、視覚的にアピールできる情報があると、イザという時に役立つ。

30代 女性 / 最低これだけはそろえるといった家庭備蓄の一覧や区で持ち出し袋の販売などを行ってはどうか。

30代 女性 / 阪神大震災の教訓を生かしてほしい。

30代 女性 / 自然災害が発生した時に、区民が必要最低限の生活ができるようにしてほしい。

30代 女性 / 自然災害を受けた場合に、どのような支援が受けられるのか知りたい。

30代 女性 / 自然災害時に避難生活を送ることになったら、小児や高齢者など弱い立場にある人をできるだけ優先し、援助情報を速く流してほしい。

30代 女性 / 自分の住んでいる地区の危険度を詳しく知りたいのと同時に、他地区についても、いつ、何時そういった状況になるのかわからないので、地震マップのようなものがあると助かる。

30代 女性 / 自分も含めて、各住人がもっと意識を持って対策を考えるべきだ。

30代 女性 / 身近な避難場所を広げてほしい。マンションも多く、公園や小中学校の校庭だけではとうてい足りない。

30代 女性 / 水の備蓄場所をもっと多くしてほしい。

30代 女性 / 「足立区が災害に向けて準備している」という情報を知らない。区がどのような対策を取っているか知らせてほしい。避難所として荒川土手を有効に活用してほしい。

30代 女性 / 自然災害が起こった時どのように救援するのか。また、どこにどのくらい物品（飲食料）を備蓄しているか知りたい。

30代 女性 / 足立区は、校庭に簡易トイレを埋めたり、災害対策に関しては進んでいる。今後も充実させてほしい。

30代 女性 / 足立区は自然災害に弱い地域だ。不安が大きいので十分な対策をしてほしい。

30代 女性 / 足立区は地震が来たら大きなダメージがあるとテレビでも言っていた。川のそばや土地の状況など、どのようになっているのか情報がほしい。

30代 女性 / 足立区は地盤が悪いと言われているので災害時の訓練が必要だ。自分でもいろいろ体験でき、災害時のことを家族で話し合えて、避難訓練に参加してとてもよかった。多くの人がこういう時に意欲的に参加できるようなことをしてほしい。

30代 女性 / 対策に関する知識があまりないので、チラシにまとめて配付してもらいたい。対策は安全な町づくりにかせないので、予算も多くとって力を入れてもらいたい。

30代 女性 / 大雨の時などに崩壊の恐れのある河川や土手などの情報、土壌のゆるい地盤はどこか、あらゆる情報を公表すべきだ。

30代 女性 / 地域での避難訓練をしてほしい。学校での避難訓練はきちんと行っているが、幼稚園、児童館などでも定期的に行ってもらいたい（ひきとり訓練の実行など）。

30代 女性 / 地域主体の防災訓練はとてもよい機会だが、もっと参加者を促す必要がある。衣食などを備蓄しているというが、イザという時区民一人ひとりにまわってくるのか、公平を保てるのか。災害時に現在進行形の確実な情報を流す体制をつくってほしい。

30代 女性 / 町会で全員参加し災害訓練をしっかりとしているところとそうでなく、何も知らない方が結構いる。私も10年近くここにいるが、災害訓練のお知らせは全く見た事がない。くまなくいろいろな地域でやってほしい。

30代 女性 / 町内会に入ったが、防災訓練はなかった。期待していたのにがっかりした。区で町内会にもっと提案してほしい。

30代 女性 / 雨が降ると毛長川が氾濫しそうで怖い。

40代 男性 / 近隣区や都との連携により、近隣区や都の避難場所や施設を利用できるようになると、区境に住む住民は便利になる。

40代 男性 / 区民放送を通じて、被害状況あるいは避難場所の情報を逐一流してほしい。

40代 男性 / 食料などは必要量を備蓄すべきだ。

40代 男性 / 自然災害への対策は「個」の対策と、自治体などによる「集団」による対策が必要になってくるのは当然である。個と集団の対策は車の両輪の関係であることを個々人が認識することが第一歩である。

40代 男性 / 西新井、本木、興野地区の道路はあまりにも狭く、また迷路のような部分もある。私も阪神大震災の時には救援物資を持って走って活動したが、あの地域（神戸市岡本）と比べて防災環境は雲泥の差だ。本当に地震があったらすごいダメージを受けそう
だ。

40代 男性 / 足立区での「総合危険度マップ」「液状化予測図」が作成されていることすら知らなかった。初めて目にした資料であるが、区民に対して広報などで災害が起きる前にもっとPRして活用されるべき資料である。まずは、災害予防を兼ねた積極PRが必要だ。

40代 男性 / 足立区は、地震災害が拡大しやすい地域なので、日頃の広報活動や情報提供を続けてほしい。

40代 男性 / 足立区は湿地帯だったので、大地震が起きた際、地面が液状化してライフラインは寸断される。復旧するまでのサバイバル法を、さりげなく広報紙やインターネットで常時流してほしい。

40代 男性 / 地域的に避難場所が狭かったり少なかったりしている場所がある。具体的には島根町だが、大きな公園や広場が必要だ。

40代 女性 / 足立区は下町ということもあり、昔ながらの細い路地が多い。地震発生の際、住宅密集地に消防車が入れるのかなど、火災の延焼が心配される地域での消火活動などが心配だ。

40代 女性 / 1ヵ所で情報がわかるインフォメーションが徹底されていると安心だ。

40代 女性 / 地震などに対しての区の防災マニュアルは作成してあるが、いざという時にその通りにできるかどうか問題だ。各家庭や地域に災害や地震についての危険度の意識づけをもっとした方がよい。

40代 女性 / 具体的な対策など知らない人が多いので、もっとみんながわかるように知らせてほしい。

40代 女性 / 考えてみると災害時の避難場所もはっきり知らない。9月1日の「防災の日」などに大きく広報を出してほしい。また、荒川が近いので決壊時を想定した対策などもあるのか知りたい。

40代 女性 / 最近、日本ではそんなに大きな地震はないが、日頃からの備えも大切だ。また、災害発生後の救援活動もとても必要になってくるので、その辺を行政ですばやく対応できるようにしてほしい。

40代 女性 / 災害が発生した時、相談できる総合窓口があるとよい。

40代 女性 / 食糧や備品について、どのくらい、何日分くらい準備してあるのか。

40代 女性 / 川の氾濫に対する警察や消防との速やかな連携をお願いしたい。

40代 女性 / 大きな災害ではないが、集中豪雨などがあると決まって川のようになってしまう道路がある。そういう場所を区では把握しているのか。

40代 女性 / 地震などが発生した場合、本当にトイレや飲み水、食事など普通のことは大丈夫なのか。阪神淡路の時テレビで見ていたけれど、とても大変だった。

40代 女性 / 備蓄倉庫の場所などがわからない。防火管理者には文書で知らせてほしい。

40代 女性 / 防災用持ち出し袋を購入しようとしたことがあるが、中身の交換などを考えると費用もかかる。区で比較的安価な防災セットを希望者に販売してはどうか。

40代 女性 / 毎年、地元の宮城小学校で災害訓練を行っており、この地域の人は簡易トイレやアルファ米などを見ているので、パニックは少ないと思う。

50代 男性 / 自然災害に対する対策がよくわからない。災害時、スピーカーから正確な情報が迅速に流れることを期待する。日頃の訓練が重要だが、行われているのか。半年に1回やっているということでは話にならない。

50代 男性 / 対策がどうなっているのか。区のしくみや自治体の様子がわからない。PRが必要だ。区の施設にコーナーを設けてPRするのはいかがか。国立科学博物館で「The地震展」を見たが、区が単独で行うのは無理なので、このようなイベントをPRして勧めたらよい。

50代 女性 / 自動車運転中の避難に関し、キーを付けた状態での避難がどこまで徹底できるか全く検討がつかない。避難も救助活動もまず、通路確保から始まってかなりの障害になると予想される。行政としての対策はどのようにするのか。

50代 女性 / 足立区へ越してきて、足立区のことを全くわからなかったが、今回「地震から命と暮らしを守る」という冊子を受け取り随分助かった。自然災害が区に与える被害も知った。しかし、この冊子はモニターだけが持っているのか。いろいろな形でもっとPRをしたらよい。

50代 女性 / 中川公園は葛飾区の人々の避難場所にもなっており、数万人が利用すると試算されている。しかし、未整備部分が多く不安である。都及び葛飾区と連携し一日も早い完成を望む。

50代 女性 / 隣に一時避難所があるが、ただの空き地なので、冬は一時間も居られないと思う。実際に地震にあった時、近くの竹の塚小学校に避難することになるのか不明だ。こういった情報を住民に教えてほしい。

60代 男性 / 「危機管理室」が設置されたことすら知らなかった。怠慢のそしりを免れないが、広報の徹底を望みたい。何よりもどのような機構でマニュアル化されているものがあるか、また、国や都と危機管理室がどう連携しているのか知りたい。

60代 男性 / 違反建築の撤去。

60代 男性 / 危機管理の必要性を区民に啓発する。各住区センターを核としてチームを編成し、事前のトレーニングをしておく。

60代 男性 / 地震発生イコール火事が想定されるので、住宅密集地域の都市計画道路の1日も早い工事開始を願う。特に136号線を。

60代 男性 / 自然災害が発生した時、情報を逐次区内の放送網を使用して備えてもらいたい。

60代 男性 / 自然災害に会った時何が一番必要なのか、あらゆる機会で区民に知らせるべきだ。（具体的に、かつて神戸の大地震にあった人の意見など）

60代 男性 / 自然災害はいつ起こるかわからない。足立区的地盤は地震の際に液化現象の心配があるとのこと。万全の対策を望む。

60代 男性 / 自然災害発生時、足立区がそれぞれの地域へどのような対応策を持っているかを一度明確にしてもらいたい。

60代 男性 / 情報の速やかな提供。

60代 男性 / 千住東一丁目在住。最近広域避難所が変更になった。学区域内の小学校の避難場所から荒川南岸・河川敷緑地一帯へと、避難場所が遠くなった。従来どおり近くの小学校に戻してほしい。

60代 男性 / 災害には地域と行政が一体で活動して初めてよい効果が出る。行政側の救援と情報提供を今後も強力にお願いする。

60代 男性 / 定期的、長期的に広報活動が必要だ。

60代 男性 / 当区は隅田川、荒川、綾瀬川、毛長川など大きな河川が多くあるので、治水対策は特に力を入れるべきである。河川の近くの住民に連絡を取合い、早い対策が必要だ。また、足立ケーブルテレビに河川の情報を取り入れてほしい。

60代 男性 / 避難場所に多くの物品を持っていけるのか疑問だ。

60代 男性 / 平常時に、年何回も、役所と区民共同の避難訓練が必要だ。ぜひ一度、全区民と一緒に（大人も子どもも女性も高齢者も）訓練をしてほしい。

60代 女性 / ・現時点では、災害に対しての整備等は区民のことを考えて備蓄ができています。・自分自信消防団員として10年間、日頃から訓練しているので、積極的に行動したい。・避難場所についてはちょっと遠い。

60代 女性 / 綾瀬に居住しているが、割合公園が多いので、自宅から最短距離の公園を確認し、日頃から歩いて居場所を捜しておきたい。

60代 女性 / 区内の住居などが安全基準を満たしているか調べ、順番に修繕する（費用の一部区が出し、費用も低利もしくは無利子で貸出す）。

60代 女性 / 荒川河川の水害など、しっかり安全対策を取ってほしい。地震の際、どの学校に避難すればよいかかわかるようにしてほしい。

60代 女性 / 事故が発生した場合、速やかに全体に連絡が届くよう、平素から連絡の方法などを準備して区民にも知らせておいてほしい。

60代 女性 / 自然災害からの被害を防ぐには早期情報に頼ることになる。避難場所へ自力で逃げる人は、高齢者や障害者の手助けをできるよう心掛けたり、危機管理室との連携を取り、協力できるような対策を区民が常に考えねばならない。

60代 女性 / 足立区は地盤が低いので、河川の決壊が心配だ。河川の堤防には十分注意して見守ってほしい。

70代 男性 / ・防災区民組織や避難所運営本部組織が設置されているが、いざという時には的確に機能することを強く望む。・区民各家庭で準備しておかなければならないこと（例えば、避難所の確認、非常持ち出し、建物の安全点検など）の周知徹底と実行促進の啓発をしてほしい。

70代 男性 / 区民は平和ボケしている。恐怖感を与えないように備える心構えを早く整えるよう、科学的知見で覚醒させるべきだ。

70代 男性 / 建築年数の経っている建物については、区の行政指導を含めて資金援助を考えてはどうか。

70代 男性 / 災害時の避難場所が図上に詳細に指示されているが、マンションの増加で人口が密集している。実際に混乱無く避難できるか心配だ。隅田川に接した地域は海拔ゼロメートル地帯に等しく特に憂慮される。コンクリート堤防も老朽化しており、行政において今後注視してほしい。

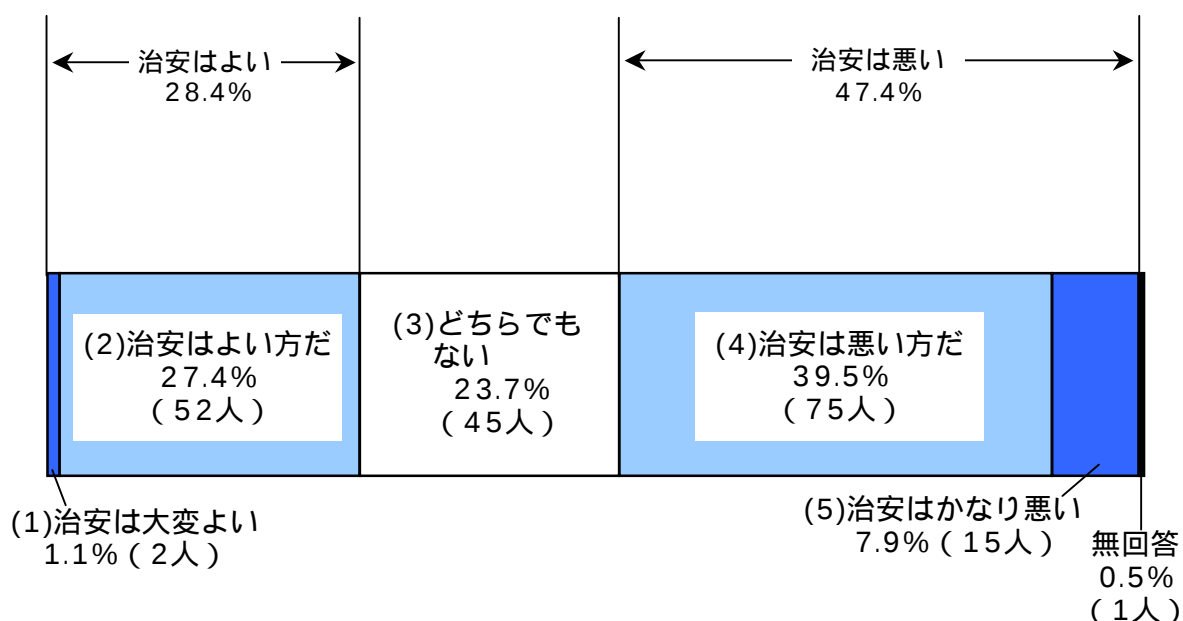
70代 男性 / 私の町会ではレスキュー隊を組織しており、災害時の初期対策にどのように対処するかを考えている。花畑西小学校における避難訓練では、各町会から頼もしいとの講評をもらった。私が町会副会長で当日、皆に活動状況と器具の説明を行った。

70代 男性 / 地震による荒川の氾濫など事前の情報を夕方の放送で知らせてほしい。町会を動員して、素早く対応できる組織を立ち上げてほしい。向こう3軒両隣の交流を促すことを考えてほしい。

70代 男性 / 天災は忘れた頃にやって来る。事前の対策でなく発生後の対応が一番問題だ。発生後のマニュアルなどを行政と区民が認識し、被害を最小限にすべきだ。

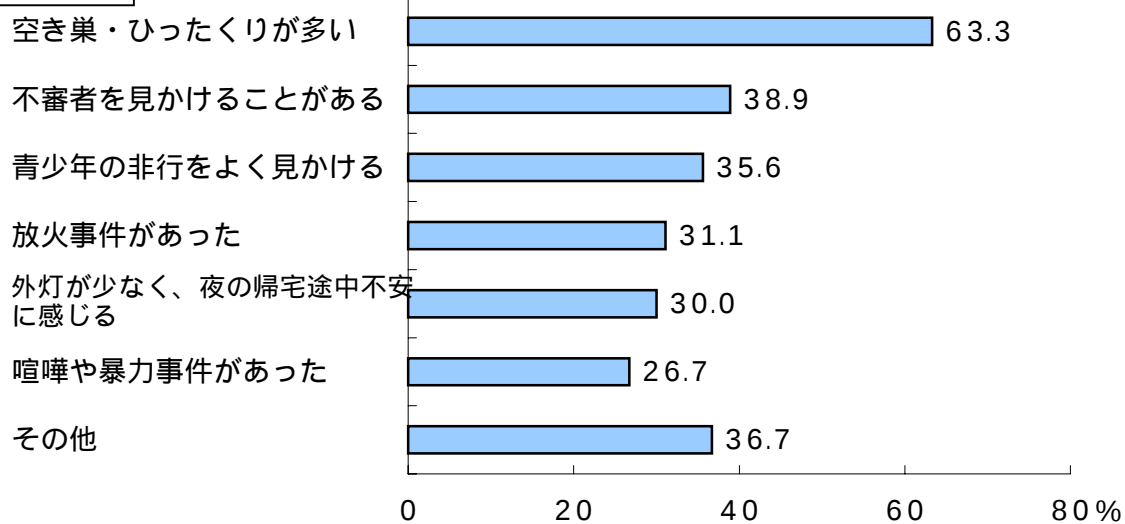
80代 女性 / 現在、大谷田団地に居住しており、家族と一緒にしながら避難場所、またその場所にトイレがあるか、水や食糧がすぐ間に合うのかよくわからない。それらがよく分かるようにしてほしい。

問8 あなたは、お住まいの地域の、現在の治安について、どのように感じていますか。
次の中から1つ選んでください。(○は1つ)



問9 問8で選択肢(4)(5)を選んだ方にお聞きします。
あなたがそう思われる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(○はいくつでも)

90人中

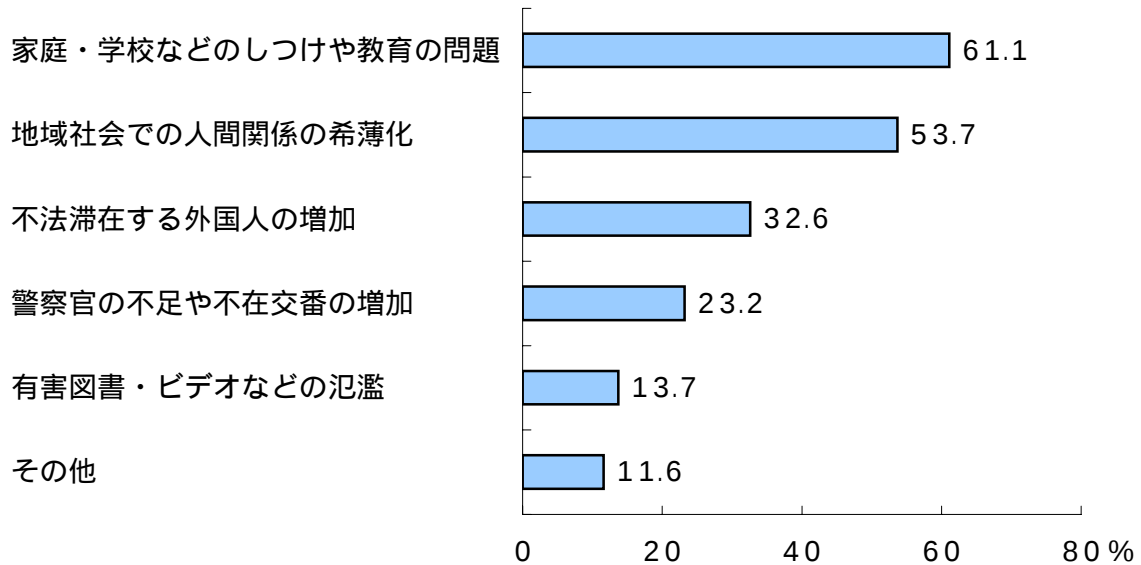


(その他)

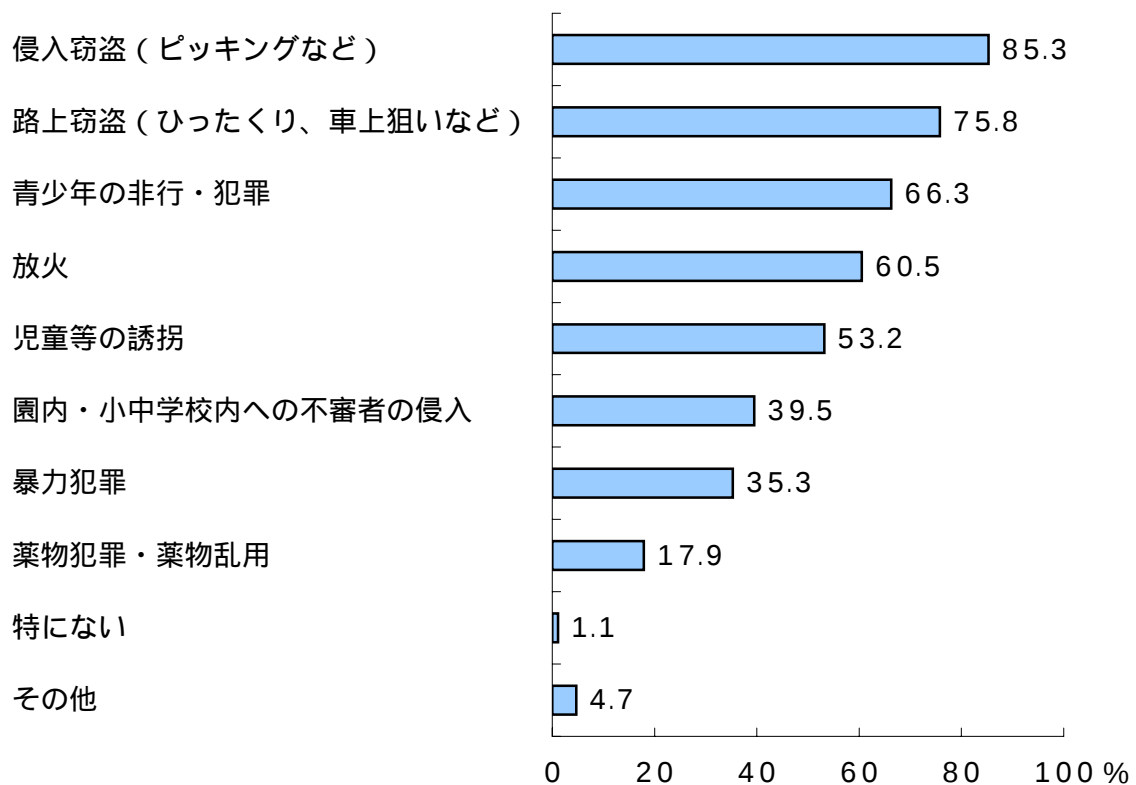
- ・地域に警察官が常駐していない
- ・車上あらしがあった
- ・殺人事件があった
- ・マンションのドアが壊されていた
- ・スーパーに置き引き注意のポスターが貼られるようになった
- ・不審者に対する学校からの情報提供が多い
- ・引ったくり犯の取り押さえ現場を見た
- ・車、バイクの爆音、暴走族が多い
- ・友人知人で被害にあった人が多い
- ・夜間にパトカーや救急車の音が多い
- ・信号無視や乱暴な運転が多い
- ・射幸心を煽る店が増えている など

問10 全員の方にお聞きします。

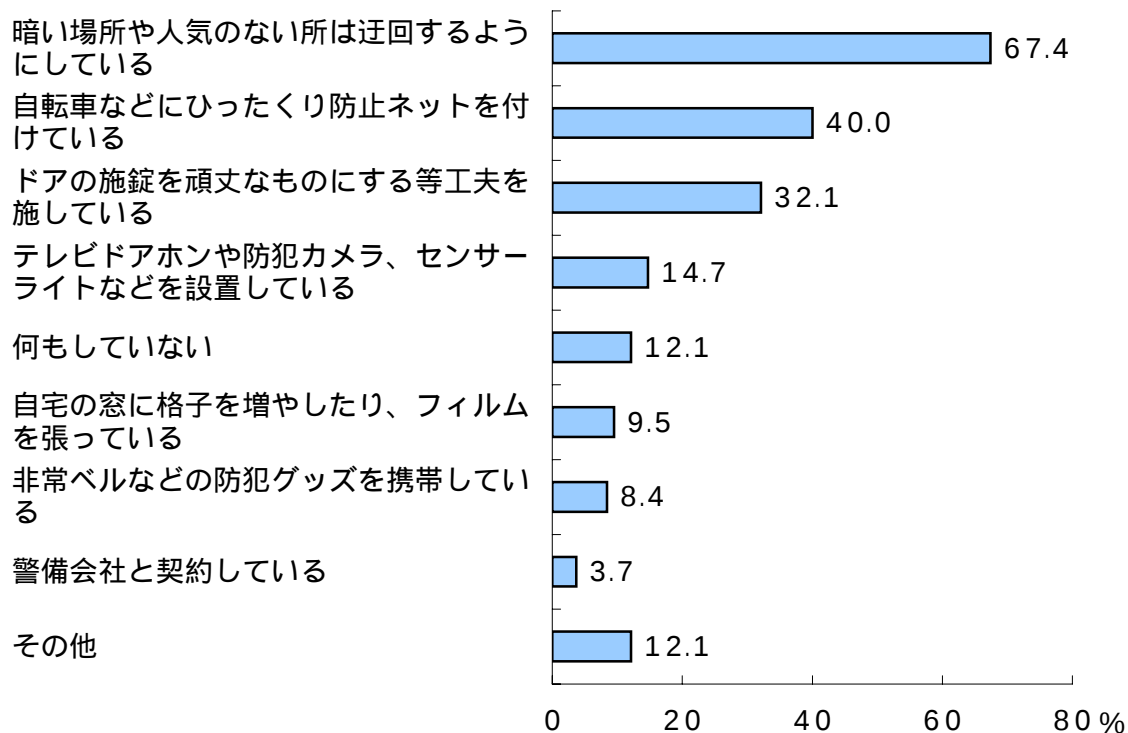
最近、テレビや新聞紙上において、治安の悪化がよく取り上げられています。あなたは、治安悪化の原因で大きなものは何だとお考えになりますか。次の中から2つまで選んでください。（○は2つまで）



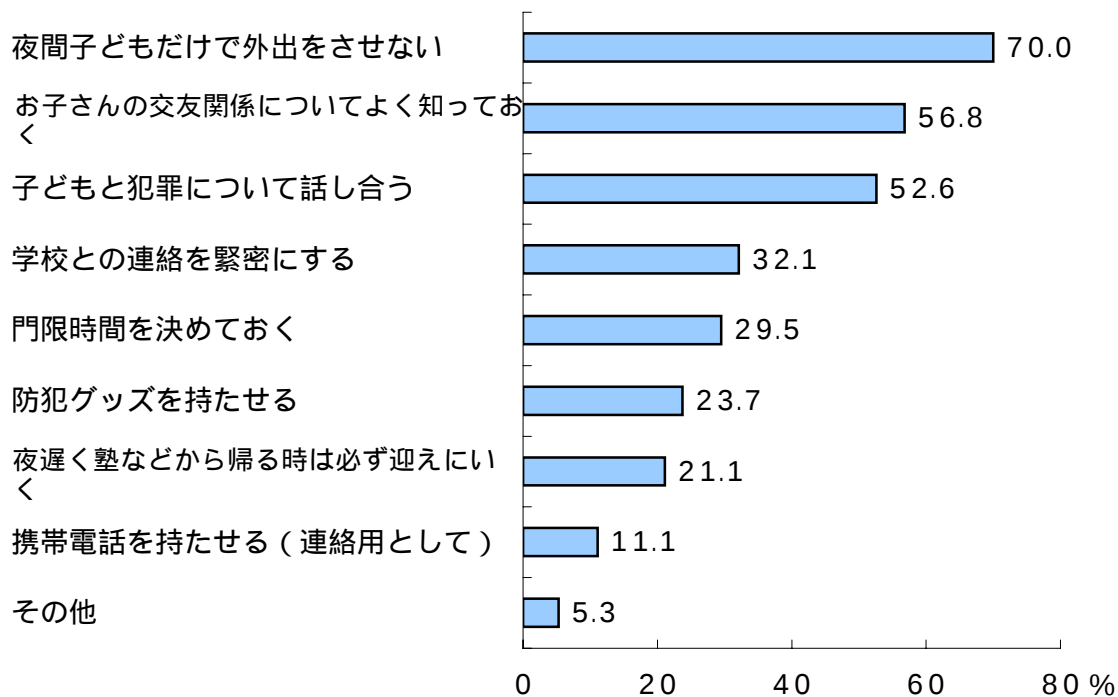
問11 あなたは、お住まいの地域の、今後の治安について、特に不安に感じることはありますか。次の中からいくつでも選んでください。（○はいくつでも）



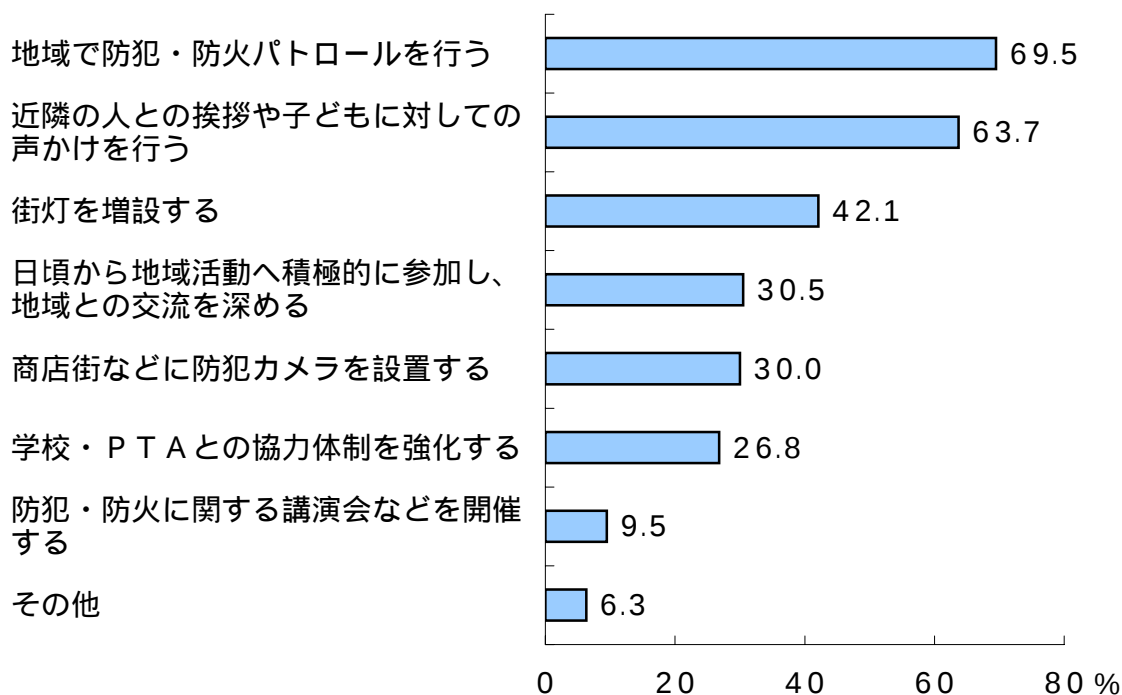
問12 あなたは、防犯のために何かしていることはありますか。次の中からいくつでも選んでください。（○はいくつでも）



問13 小中学生の児童生徒に対して家庭で行う防犯対策で、あなたが特に必要だと思われることはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。（○は3つまで）



問14 地域の治安を保つために、地域でできる取り組みとして、あなたが特に効果的と考えるのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。
(○は3つまで)



問15 足立区の安全・安心なまちづくりについて、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由回答)

主な意見・要望

20代 男性 / 夜になると暗い場所が多く、女性にとっては怖い道が多くある。できるだけ、街灯を増設して明るくしてほしい。

20代 男性 / 放火が多い所や商店街に防犯カメラを設置してほしい。警察官にもっと地域をまわってほしい。

20代 男性 / 警察官が少ない足立区は、色々な箇所で不備があるのではないかな。例えば、埼玉県では自転車の無灯火は必ず注意されるが足立区では注意をしない。また、飲酒検問では息の検査のみで免許証の確認すらしない。もう少し警察の活動をマメにしてほしい。

20代 男性 / 区内でも比較的治安がよい地区とそうでない地区がある。まずは死角となるような場所をなくすこと。街灯の増設はもちろんのこと、各家庭でも玄関先に門灯をつけたり影になりそうな樹木を剪定するなどして犯罪に強いまちづくりをすることが必要だ。

20代 女性 / 足立区は治安が悪い。友人が帰る際にも夜遅くならないよう、また明るい道を帰るようお願いする。少年非行も気になる。明るくのびのび過ごせる学校づくりを基本に、みんなが気持ちよく過ごせるまちづくり、行事の開催などを心がけていくことで区民意識も向上する。

20代 女性 / 小さな罪でも許さないという姿勢が犯罪を減らす“ブローケン・ウィンドウ理論”が、ニューヨークで効果をあげた。軽犯罪こそ厳しく取り締まる必要がある。また、何度も路上駐車する人が大きな事故を起こすと聞いたことがある。車を運転する人のマナー向上にも努めるべきだ。

20代 女性 / 児童生徒に対して防犯ブザーの貸出しを行ってほしい。（他の区ではすでに行っている）

20代 女性 / 資料の犯罪別をみても、足立区の多さにゾッとする。日頃のパトロールがより一層大事だ。子どもが来年から小学校に入るので一人での登下校がとても心配だ。みんなで助け合えるまちづくりをしたい。

20代 女性 / 子どもの誘拐事件が多く報道されるようになった。この際、通学途中の事故を防ぐためにも通学路を見直したらどうか。学校側主導でなく、子どもとPTA（役員だけでなく）主導にしたらどうか。わざわざ遠回りして危ない道を通るから心配という実際の声もあった（淵江小）。

20代 女性 / 最寄駅に、「前籠に注意」などひったくり防止の看板があるが、気に留めていない人が多い。ひったくりやピッキングが多発しているとわかっていても、それ以上の情報がないため危機感を抱かせない。どのような道路、状況で起こるか、情報を知らせる必要がある。

20代 女性 / 今、自分が一番不安に思っていることは、ピッキングなどの犯罪や放火、殺人だ。犯罪などの特集を組んで、一人ひとりの意識を高めていくことが大切だ。

20代 女性 / 交番や警察署などをもっと増やし、いつでも警官が近くにいる、見ているという危機感を誰もが持てる状況をつくる。引ったくりや誘拐などの事件があった時は、区役所のアナウンスを使って発生や犯人の特徴なども伝えたい。

20代 女性 / 近くには駅や商店街があり、毎日多くの人が往来している。子どもが1人で歩くには不安があり、親としては片時も目が離せず、買い物もままならない時もある。近所とのつきあいのみならず、商店街の人と顔見知りになるようにしていきたい。

20代 女性 / 各お店の店員や警備員が万引きだけでなく、誘拐や置き引きをしそうな人がないかよく監視することが必要だ。そうすれば、安心して買い物ができるようになる。

20代 女性 / 街灯が全体的に少ない。特に私道に。何か設置の基準はないのか。また、いろいろな意見はあると思うが、このご時世、主要なポイントに防犯カメラの設置はやむを得ない。

20代 女性 / 街灯が少ない。一方通行の取り締まり強化。

20代 女性 / 街灯が少ない、または暗い。小学校の近くにいつも不審者（不労者）がいて不安だ（通学する子どもへの悪影響）。東武線沿線のガード下が暗く不安だ。

20代 女性 / 以前、車にいたずらをされた。警察へ届出した時、警察官に「足立区は治安が悪いので、できれば他区、県に住んだほうがよい」と言われた。また、「新宿よりも悪い」とも言っていた。子どもたちが安心して住めるまちにしたい。

20代 女性 / 安産と安心がただでは買えない時代、各自での取り組み以外にまちでの取り組みが必要だ。

20代 女性 / マンションの12階から見ると、街並みの明るいところ暗いところは一目瞭然なので、街灯をもっと増やすべきだ。また、警察官の不在時間のある交番があってはいけない。万引きや自転車のシートなどを盗んでも平気という印象をつけてしまう。

20代 女性 / 小さい子どもがいるので、安心して遊ばせられるように防犯パトロールを強化してほしい。

20代 女性 / (1) 外灯が少ないので暗い道には設置してほしい。(2) 空き地や駐車場など不審者が隠れやすい所の出入り口の管理をしてほしい。(3) 車の往来の多い抜け道などに信号機を設置する。(1)(3)は募金をしてほしい。

30代 男性 / 犯罪が顕在化する前の潜在的な状態(ヤンキーの駅前のたむろ、禁煙所での喫煙、違法駐車、迷惑な大音量、危険運転など)に、駅員、通勤客、警察が毅然とした態度で注意する。応じない場合は相応の対処を。

30代 男性 / 足立区は犯罪が多いので、パトロールを強化してほしい。また、浄水器や消火器のセールスと言って高額な賞品を売りつけようとするなどの不法行為者が多いので、もっと注意をよびかけてほしい。

30代 男性 / 軽犯罪が重犯罪を誘発するので、落書きなどを地域住民で消して防犯カメラを設置する。プライバシーの問題も生ずるが、安全に暮らすために、ある程度のプライバシーは犠牲にしてもやむを得ない。

30代 男性 / 下町としての足立区の魅力は、裏を返せば防犯上の不安につながるのも事実だ。比較的所得水準の低い家庭が集まる地区が多い中、そのあたりを抜本的に改革していく必要がある。

30代 男性 / まちのパトロールや街灯などの強化的な対策は早めに行うべきだ。

30代 女性 / よくパトロールしている警察官に会うが、とてもよいことだ。今後もいっそう強化してほしい。

30代 女性 / 幼稚園や小学校に不審者が侵入できないよう、モニター設置を強化するなどして子ども達を守ってほしい。

30代 女性 / 夜遅く自転車で帰るが、街灯がないところがある。また、道路もせまく、歩道がないところもある。向こうから来る自転車もライトもつけず、携帯電話で話しをしながら走ってくることも多く、自分は気をつけている。多分、こういうところの事故は多い。

30代 女性 / 夜間パトロールを重視してほしい。

30代 女性 / 保育園、幼稚園、小中学校に防犯カメラを設置し、不審者を見かけた情報がある時は、警察の協力を得て見まわってほしい。事件が起きてからでは遅い。

30代 女性 / 不法滞在の外国人の取り締まりを強化してほしい。駅周辺に防犯カメラを設置してほしい。児童向けに防犯に関する講習会を設けてほしい。

30代 女性 / 不法滞在の外国人が多いので、その取締りに重点をおいてほしい。また、駅前の路上駐車や駐輪が多く、歩くのが大変で車とぶつかりそうになり危険だ。

30代 女性 / 通学も含めて、学校での安全性が今一番問題だ。「開かれた学校」とうたって取り組んでいるようだが、まずは児童に危険のないことを十分に考えてから取り組むべきだ。子どもを持つ親として、今とても心配だ。学校内に防犯カメラを設置しているのか。

30代 女性 / 竹の塚周辺で昨年から行われる「光の祭典」のような大きなイベントがある時に、そのステージで震災についてわかりやすく取り上げていくとよい。

30代 女性 / 地域のボランティアによる夕方、下校時のパトロールをするのも犯罪を減らすのに有効だ。腕章を付けるなど、目立つようにすると効果的だ。治安、防犯について、家庭に任せておくと、何も気にしていない家庭もあるので、地域、学校でしっかり教えてもらいたい。

30代 女性 / 大人でも子どもでも、少し暗くなった道を1人で歩かせたり自転車に乗せたりするのに不安を感じる。特に児童館や学童の帰り、子どもが暗い道を歩いているのを見るととても心配だ。夕方から夜間にかけての警察パトロールは、昼間の駐禁パトロールより強化してほしい。

30代 女性 / 足立区内でも地域によって治安に差がある。地域の特性にあった治安対策を考える必要がある。

30代 女性 / 足立区のことをニュースになることが多く不安を感じる。安心して住めるまちにしてほしい。

30代 女性 / 足立区での事件などがあった場合は、早急に区民に伝えられるようにしてほしい。新聞やテレビニュースで事件があったことは知るが、その新聞のニュースを見なかったら早急に知ることができない。また、その事件がその後どうなったのか詳しく知りたい。(犯人が捕まったかなど)

30代 女性 / 足立区が犯罪多発地域だと知ってショックを受けた。地域ぐるみでの対策が必要だ。希薄になった近所関係を見直して防災訓練をするなど、誰が近所にいるのか顔だけでも知っておいた方がよい。

30代 女性 / 人気のない路地や暗い道がまだ多く不安だ。警察などとも連携を深め、安全なまちを築いてほしい。

30代 女性 / 親子の話し合い、地域の密接な付き合いが必要だ。

30代 女性 / 深夜に多い空き巣や放火の犯罪を防ぐため、警官のパトロールを増やしてほしい。治安の悪いイメージの区なので、ぜひ力を入れて安全なまちにしてほしい。

30代 女性 / 小学生の子どもを持つ親として、子どもに対しての犯罪は気になる。学校から防犯ベルなど児童に貸してもらうことはできないか。

30代 女性 / 治安の問題は、まちづくりにとって最も重要な問題の一つだ。特に足立区は犯罪が多発しているので、他の課題よりも優先すべきである。

30代 女性 / 治安の悪さは前から気になっていたもので、これからも安心なまちづくりに力を入れてほしい。

30代 女性 / 子ども達が安心して遊べる公園や安心して歩けるまちになればよい。それには、地域の人の協力が必要だ。

30代 女性 / 子どもの誘拐事件がとても怖い。区でもいろいろと対策をしてほしい。

30代 女性 / 足立区も公園に非常ベルを鳴らすといったものを設置したり（警察とつながる）、何かあった時に逃げ込める家をお願いしたり（子どもＳＯＳ）、もっと子ども達を守ってほしい。

30代 女性 / 子ども達だけで公園では遊ばせられないくらい住みついている人や見かけない人がいるので、母親達で交替でついて行ったりしている。連れ去られない心構えや、逃げ方を専門家に教えてもらいたい。地域全体で協力が必要である。

30代 女性 / 今は何が起こるかわからない時代なので、自分の身は自分で守らなくてはいけないと、我が子にもしっかり教えていく必要がある。しかし、地域での関わりが希薄化しているため、子ども達を安心して育てていける環境づくりが必要だ。最近の足立区の活動は評価できることが多い。

30代 女性 / 公園付近はどうしても治安が悪く、夜になると中学生がたまって大騒ぎしている。また、公園予定地のため街灯も少なく、人通りもまばらなので、夜は歩かないようにしている。子どもが大きくなるにつれ、帰りが遅くなるので心配だ。（舎人公園付近）

30代 女性 / 交番を増やしてほしい。

30代 女性 / 警察がパトロールするとよい。見たことがない。

30代 女性 / 警察や民間を問わず、パトロールしてほしい。その存在だけでも心強い。

30代 女性 / 具体的に足立区がどのようなことに取り組んでいるのか、日ごろの心構えや対策など多くの情報を広報や新聞などを通して知りたい。また、地域や学校での安全強化を望む。

30代 女性 / 区民の意識を変えていく試みが必要だ。

30代 女性 / 区がやっている対策の情報がほとんど入ってこないの、さまざまな安全対策の情報を教えてほしい。

30代 女性 / 過去に侵入窃盗や車上あらしの被害にもあい、身近に放火や引ったくりの被害も聞く。子どももいるため、日常生活において切実な問題となっている。一人ひとりの心掛けもさることながら、地域ごとに特別な対策をしなければならない時期に来ている。

30代 女性 / 安心して住みよいまちがよい。

30代 女性 / リアルタイムのものから過去のデータまで、区内で起きた犯罪情報をいつでもインターネットで入手できるようにしてほしい。事件・事故への協力や注意に有効だ。具体的で自衛に役立つ情報がほしい。

30代 女性 / やはり薄暗いところでは、痴漢や引ったくりなどが起きやすい。小学校低学年の子を狙った痴漢なども多いので、地域で声かけや連絡を密にする必要がある。その他に制服警察官やパトカーなどの見回りがあると効果的だ。

30代 女性 / もっと警察官を動員してほしい。常にパトロールしていれば、悪いことを考える人は姿を見てしなくなる。一般の人は安心できる。

30代 女性 / はっきり言って安全、安心な区ではない。地域、学校、近隣、みんなが一緒に取り組んでいかないとひどくなる一方だ。

30代 女性 / してはいけないことを叱ってあげられる大人になりたいが、どうしたらよいのかわからない。自分や連れている子どもの保身ばかり考えてしまう。私のような大人は他にもいると思う。一人ではなく、地域全体で取り組んでいるという心強さがほしい。

30代 女性 / 警官が見ていると安心する。自分の身を守るためにも近所づきあいは必要だ。

30代 女性 / いくら行政が努力しても、住民一人ひとりが危機管理について意識していないといけない。自分達の身は自分達で守るという気持ちで、地域として活動ができるようにしてほしい。

30代 女性 / 「まちぐるみ」とよく耳にするが、実際どのような活動が効果があるのかわからない。それゆえ、町会で声かけをしても協力体制が整わない。形式的でなく、納得できる、骨格のしっかりした取り組みができるよう、危機管理室の今後の情報提供に期待する。

30代 女性 / (1) 昨年、家の前で火事があったが、近所の人「火事だ」の一言で周囲も気がついた。近隣付き合いと周囲に知らせる大声が大切だ。(2) 空き交番ならあっても仕方がない。空き交番を見ると腹立たしい。(3) 地域住民を犯罪から守るには、住民一人ひとりの目が重要だ。

40代 男性 / 道路整備はかなり進んできたが、広場や公園が一部の地域を除いて少ない(島根)。地域活動を推進するには広い場所が必要だ。また、自治会としての町会のあり方を指導や啓発していく必要がある。

40代 男性 / 足立区は、最近まで下町的雰囲気による地域共同体意識が強く残っていたが、都市化によりこの意識を保持できているのは高齢者ばかりになってきている。昔ながらの地域共同体意識を再構築することを、若年や中年層にまで広げていくことが大切だ。

40代 男性 / 最近になって、やっと地域の掲示板などに「ピッキング」や「空き巣事件」発生の情報が掲示されるようになった。防犯意識を高めるためにもよいことだ。身近な情報として注意、警戒することができるのでとてもよいことだ。

40代 男性 / 交番を増やしてほしい。優良警備会社と提携して区内パトロールを増やし、警察活動の補完をしてほしい。

40代 男性 / 警察と住民有志が協力して犯罪者を侵入させないように、また電話などを通じた犯罪に引っかからないよう情報と対策を共有する。

40代 男性 / 警察との連携が必要だ。少しでも安全なまちになるよう期待している。

40代 男性 / 以前、アメリカに住んでいた時、治安が悪かったので地域住民が自警団を組織し、日本の防犯防火パトロールのように巡回していた(合法に銃を携帯)。また、まちの至るところに「自警団が見張っている」という看板が立っていた。おかげで犯罪が減った。

40代 男性 / 安心・安全のまちづくりには、地域での防犯・防火パトロールを行ったほうがよい。安全・安心は日本では無料と考えがちであるが、最近の不法滞在外国人の増加や隣近所の人間関係の希薄化など、自分達が行動して自分自身を守らなければいけない。

40代 男性 / エメールを活用して、防犯情報などをメーリングリストの形で配信するサービスをしてはどうか。

40代 女性 / 犯罪情報を得られず困っている。事件などがあつた時は、町会だけでなくマンションにも警察便りなどのチラシを配ってほしい。

40代 女性 / 日頃はあまり考えないが、あらためて思うと、「テロ」などに関しては、こちらから危険と思われる所へは行かなければよい。むしろ、身近な不在交番をなくしていつてもらいたい。やたらに「テロ」と騒ぎ立てずに、冷静に対処していったほうがよい。

40代 女性 / 地域の近所のトラブルなど、小さなうちに解決できるようなシステムをつくったほうがよい。モラルの低下によって起きる不快感を放っておくと犯罪に発展していく。

40代 女性 / 地域ぐるみの運動や草の根単位の運動を強化するのがとても効果がある。遠回りのようだが、みんなの意識の高まりが、安全・安心なまちづくりの近道だ。

40代 女性 / 人が住みやすい安心なまちにしてほしい。小さな子を抱えて毎日がやっとの生活だが、大きくなったら防犯や安全面にもっと心を割いてほしい。

40代 女性 / 小中学生を夜中に外で見かける。学校（PTA）での親への教育（情報提供）や警察などの見まわりを強化してほしい。

40代 女性 / 治安については、特別悪い所やよい所といった区別がつきにくくなっている。防災に対してもまだまだ意識は薄い。（私自身体験してないこともあって）今できること、地域とのつながりから改善していきたい。

40代 女性 / 最近、子どもに関する連れ去り事件が多くとても心配だ。暴行事件も実際に近くで起きているので、子どもを遊びに出すのも不安だ。パトロールなどを強化して安全に遊べるようにしてほしい。

40代 女性 / 最近、子どもを狙った犯罪が多発しており、親としてはとても心配だ。他の区では既に実施されているところもあるようだが、足立区でも、直接警察に連絡できるモニター（だと思う）を公園などに取り付けてほしい。

40代 女性 / 行政機関や地域の人などが協力して住みやすいまちにできればよい。

40代 女性 / 警察官だけで犯罪をくい止めることは不可能だ。まちぐるみ（PTA・ボランティア活動）で防犯パトロールを強化するなど、一人ひとりがまわりの状況を見ることにより、少しでも減ると期待したい。

40代 女性 / 近隣の人との交流を日頃から深め、私たち一人ひとりが犯罪に巻き込まれないように自分で守っていくことだ。

40代 女性 / 街灯など（特に公園に）増設してほしい。

40代 女性 / やはり子ども達の常識が間違っている。昔は教えなくても一般常識は誰でも知っていた。本当にどうかしてる。勉強だけでは世の中のことはわからない。

50代 男性 / 地元をよく知っている区の行政マンと地域との連携が、危機を減らし安全・安心なまちを維持していく。かけ声だけやハード面や組織をつくるだけでは、肝心の時に役立たない。

50代 男性 / 警察官の不足を感じる。土日祭日は駐車違反のパトカーも見当たらず野放し状態だ。駐車違反取り締まりのパトカーは駐車違反のみを対象としているようで、本来の警察活動がおろそかになっているのではないか。

50代 男性 / ホームレス対策を検討してほしい。ホームレスの人達の存在は青少年に対してよい影響は与えない。安全・安心なまちづくりの一環としてどのように考えているのか、区としての方針を明確にしてほしい。

50代 女性 / 昼間の区内で、身内が引ったくりにあったことがあるが、資料を見て、足立区の刑法犯罪発生件数に驚いた。通算二十数年住んでいる足立区を第2の故郷のように思っている。区主導でよろしく願いたい。

50代 女性 / 細かい路地裏が多いのに、街灯が少なすぎる。

50代 女性 / 最近の凶悪犯罪の増加は、不法滞在外国人が多過ぎるのも一因だ。警察と区の連携を望む。私たち区民は、できることを今より多くやらなくてはいけない。

50代 女性 / 古い家を取り壊されないまま空家になっていたり、取り壊した跡の空き地に草が生い茂ったままの所を近くで何か所か見かける。死角をなくすことに取り組んでほしい。 7.00

50代 女性 / 外国人や子どもの犯罪が増加しているので、区と学校の連携を強くしてほしい。また、表札を出さなかったり、住民登録をしていない人は、きちんと誰が住んでいるのか調査してほしい。

50代 女性 / バス停から家まで暗い道が随分あるので、街灯を増設してほしい。

50代 女性 / ニューヨークでは、町をきれいにし、清潔にしたら犯罪が減ったという。また、ゴミの分別がいい加減なところは治安が悪いらしい。これは一考を要す。引越してきた自家の隣の空家にある窪地がゴミの山だったが、一掃して草花の鉢植を置いたところ、ごみは捨てられなくなった。

60代 男性 / 備蓄をしっかりしてもらうこと。区職員の訓練をしっかりしてもらうこと。区民に対しては、くり返し避難場所を知らせる（実際地図に書いて）。ここに来れば安全であると安心感を植えつけること。

60代 男性 / 非行は学校が温床である。孫が同級生らにいじめられたので学校に抗議に行った。しかし、教師は保身に走り、同級生は放任だった。危険を思い孫は転校させた。治安を言うなら学校から、それも教師から行うべきだ。

60代 男性 / 罰則の強化。悪者を守る必要はない、被害者を守るべきだ。殺人は死刑、強盗は終身刑、窃盗や万引きは10年以上の実刑等々にすれば悪は減少する。

60代 男性 / 都市計画道路を1日も早く整備して、明るいまちづくりが先決だ。他区に比べると大変遅れている。

60代 男性 / 地域住民、学校、行政、警察の継続的な協力体制をつくり、自分の地域の安全は住民一人ひとりが守るという意識を高める。

60代 男性 / 足立区は、引ったくりや放火など犯罪が多い地域である。警察官の増員や交番・街灯の増設など、治安対策の一層の強化を望む。

60代 男性 / 区の幹部と懇意だったり、永年区の行政に携わってきた者が、公共施設（及

60代 男性 / 区の幹部と懇意だったり、永年区の行政に携わってきた者が、公共施設（及び従事者の任免権の濫用）を私物化している実態を直視してほしい。防災以前に地域のコミュニケーションを疎外している。

60代 男性 / 新田地区交番は1ヵ所であり、警官は常駐しておらず、犯罪などで何かあっても相談に行けない。警察官を常駐させ、1日1回パトロールをしてほしい。安心して生活できる環境づくりが大切だ。

60代 男性 / 自治会や町会が、地域の交流や連帯を積極的に進めることが必要だ。人権やプライバシーの問題と逃げずに対峙し、議論を深める必要がある。

60代 男性 / 仕事で公園によく行くが、暗い所には少年達がたむろしていることが多い。警官のパトロールがあったらとつくづく思う。私一人では、何か起きた時に何もできない。

60代 男性 / 最近、NTTや水道局など公共の名前を使って、いかにもそこから派遣されたような感じで物品を売りにくる人が多いので注意している。警官の家族調査など巡回してほしい。

60代 男性 / 楽な交通警察に重点を置いている。防犯と刑事部門にシフトを移してみてはどうか。

60代 男性 / 安心して暮らすためにコミュニティは不可欠だ。全ての災害は初期活動が一番大切だ。防災避難訓練への参加促進と広報活動をしてほしい。

60代 男性 / ペットは飼っていないが、問6に興味を持った。ペット保有者はどれくらいか。家族の一員としてのペットは当然連れて避難を希望するが、飼っていない人には迷惑な話だ。そこで、区として避難場所へのペット持込を決めておくことが必要だ。広報で事前に周知徹底を図っておく。

60代 男性 / きめこまかく住宅街などをパトロールカーで巡回して安全を確保してほしい。そのため、警察官を増員するとともに、警察官はまちに出て仕事をしてほしい。

60代 男性 / 安全・安心は生活の基本である。子どもに対しての教育はもちろん、常に話し合い連絡を密にすること。「きまり」を守らせることを徹底させること。各家庭の親に教育する必要がある。

60代 男性 / （1）刑罰を重くする。犯罪者の人権を尊重しすぎる。（2）警察官の権限を強化させ、方策を考える。（3）青少年に対する犯罪予防対策として、過大の罰を与える。体罰を与えると抑止力は絶大だ。

60代 女性 / 夜半のパトロールをもっと強化してほしい。

60代 女性 / 地域でのパトロールをしていて感じることは、空家が増えている。各町会などで調査するか、またはサラ地にしてほしい。

60代 女性 / 大人のモラルを先に教育する必要がある。全体的にモラルアップを計画していかなければ安全・安心なまちにはならない。

60代 女性 / 足立区は住みよいところだが、最近、事故や事件が新聞にも出て驚いている。区行政と区民とのつながりをもっと密にし、区民も積極的に防犯などにも協力できる場をつくってほしい。

60代 女性 / 区の安心・安全なまちづくりについては、治安の悪化を防ぐ意味において、専門のパトロールを強化する。社会においてスキを見せぬこと（狙われている）、怪我をしないためそれぞれ責任ある行動をとる。

60代 女性 / 近隣の人と常に親しく声をかけ合っていけるよう、区でも町会ごとの安全・安心なまちづくりに協力してほしい。講習会などをもって、人と人の輪をつくっていく集会の機会をつくってほしい。

60代 女性 / 家の周りを見て、だらしないまちにしない。小中学生に防犯ベルを早急に配付する。学校で、年数回の防犯教室を開き、人任せではなく、自分で自分の身を守ることを徹底的に教える。

60代 女性 / 駅周辺にはパチンコ店が乱立し、歩道には自転車やバイクが乱雑に置かれている。少年少女を健全に育てるには環境を整備し、地域の住民が声を掛け合い、子どもから高齢者まで規律正しい毎日を過ごすようにする。そうすればまちも区も明るく変わっていく。

60代 女性 / まずは挨拶が大事だ。目が合ったらニコツとして、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」と声をかけてみたらよい。

70代 男性 / 隣近所との交流や助け合いがあまりないようだ。世代間の交流もないので、そういうものがほしい。世間のよい習慣を次世代に伝える者、高齢者が学んだことを還元する機会があってもよい。

70代 男性 / 生活の安全と安心を確保するには、周知の如く警察の力が必要である。ただ警察官の人員にも限りがあるようで、OBが対応している様子だ。それでもなお無人の交番が多くある。国際情勢によってはテロ対策に重点をおくため、これらの地域に配転されればより手薄になる。

70代 男性 / 正装の警察官がパトロールするのはそれなりに効果があるが、私服警察官が常時パトロールすること、及びしていることを広報することが大切だ。

70代 男性 / 治安をよくするため、警察官によるパトロールを強化してほしい。交番へ警察官の常駐。犯罪者検挙率の向上。犯罪情報の開示。単なる犯罪発生件数に留まらず、発生時刻、犯人数、手口、動機等防犯対策を考える上で参考となる事項について開示が必要だ。

70代 男性 / 子どもを守るには、他人の子どもと思わずみんな自分の子どもと思うことが大切だ。家庭を守るには、まちは家庭の集合体、家族みんなの話し合いが大切だ。社会を守るには、区民一人ひとりがいかにイベントなどに参加して心を結び合っているか、その密度が濃いほど安全・安心なまちを実現できる。

70代 男性 / 警察力の増強。戦前よりも交番が極端に少なくなった現在では、パトカーの巡回が唯一の頼りとなる。パトカーの増強をして巡回回数を増やすことが安心なまちづくりにつながる。

70代 男性 / 区、町会、警察などの協力体制を強化し、パトロールの充実を図るようにしてはどうか。

70代 女性 / 地域との交流が一番大切だ。

80代 女性 / ひとり暮らしの高齢者も何世帯もある。老人クラブとも連絡を取り、避難場所やその場所にトイレがあるか、水や食糧がすぐ間に合うのかよくわかるようにしてほしい。

集 計 表 (%)					
危 機 管 理 に つ い て	全 員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回 答 者 数 (人)	190	58	132	94	96
問 1 危機と感ずること (複数回答) N = 1 9 0					
(1)大地震	85.3	82.8	86.4	87.2	83.3
(2)台風・集中豪雨	16.8	25.9	12.9	16.0	17.7
(3)河川の決壊	7.4	8.6	6.8	8.5	6.3
(4)テロ	55.3	56.9	54.5	52.1	58.3
(5)交通事故による大災害	2.6	1.7	3.0	1.1	4.2
(6) S A R S 等の感染症	30.5	17.2	36.4	30.9	30.2
(7)火災・放火	14.2	19.0	12.1	14.9	13.5
(8)治安の悪化	48.4	58.6	43.9	43.6	53.1
(9)青少年非行	11.6	8.6	12.9	8.5	14.6
(10)児童・少女等の誘拐	13.7	10.3	15.2	21.3	6.3
(11)環境汚染・地球温暖化	9.5	8.6	9.8	8.5	10.4
(12)食品の衛生管理(添加物・不正表示など)	1.6	1.7	1.5	1.1	2.1
(13)その他	1.1	1.7	0.8	2.1	-
問 2 危機管理室に対する期待 (複数回答)					
(1)防災・防犯に関する情報提供	47.9	53.4	45.5	45.7	50.0
(2)地震・水害等への事前の対策	46.8	48.3	46.2	47.9	45.8
(3)防犯に対する事前の対策	28.9	34.5	26.5	30.9	27.1
(4)地震・水害等の自然災害が発生した時の救援活動	57.9	56.9	58.3	54.3	61.5
(5)事件・事故が発生した時の救援活動	35.8	36.2	35.6	30.9	40.6
(6)警察・消防等との速やかな連携	28.4	20.7	31.8	30.9	26.0
(7)区民の防災・防犯意識の高揚を図る	20.0	31.0	15.2	16.0	24.0
(8)被害者への相談・案内	18.9	8.6	23.5	28.7	9.4
(9)特になし	-	-	-	-	-
(10)その他	4.2	6.9	3.0	4.3	4.2
問 3 災害に対する備蓄物品 (複数回答)					
【現在備蓄している物品】					
(1)食料品	52.1	58.6	49.2	46.8	57.3
(2)飲料水	53.7	63.8	49.2	44.7	62.5
(3)衣類	26.8	36.2	22.7	20.2	33.3
(4)救急用品(包帯・ガーゼ・絆創膏など)	49.5	58.6	45.5	41.5	57.3
(5)医薬品(風邪薬・整腸剤など)	35.8	43.1	32.6	34.0	37.5
(6)衛生用品(洗面具・生理用品など)	30.0	22.4	33.3	30.9	29.2
(7)介護用品(オムツなど)	5.8	3.4	6.8	9.6	2.1

集 計 表 (%)					
危 機 管 理 に つ い て	全 員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(8)食器類(紙皿・スプーン・フォークなど)	23.7	29.3	21.2	21.3	26.0
(9)ラジオ	56.3	65.5	52.3	39.4	72.9
(10)懐中電灯	72.6	74.1	72.0	60.6	84.4
(11)電池	47.9	56.9	43.9	37.2	58.3
(12)貴重品をまとめている	28.9	27.6	29.5	25.5	32.3
(13)非常持出袋を準備している	40.0	39.7	40.2	35.1	44.8
(14)その他記述記述	7.4	3.4	9.1	7.4	7.3
【今後備蓄しようと考えている物品】					
(1)食料品	50.0	43.1	53.0	53.2	46.9
(2)飲料水	49.5	44.8	51.5	54.3	44.8
(3)衣類	38.9	32.8	41.7	44.7	33.3
(4)救急用品(包帯・ガーゼ・絆創膏など)	45.8	32.8	51.5	52.1	39.6
(5)医薬品(風邪薬・整腸剤など)	38.9	31.0	42.4	37.2	40.6
(6)衛生用品(洗面具・生理用品など)	39.5	27.6	44.7	46.8	32.3
(7)介護用品(オムツなど)	27.9	31.0	26.5	27.7	28.1
(8)食器類(紙皿・スプーン・フォークなど)	35.3	27.6	38.6	37.2	33.3
(9)ラジオ	42.6	39.7	43.9	52.1	33.3
(10)懐中電灯	38.4	29.3	42.4	50.0	27.1
(11)電池	42.6	27.6	49.2	52.1	33.3
(12)貴重品をまとめている	45.3	50.0	43.2	48.9	41.7
(13)非常持出袋を準備している	44.2	34.5	48.5	47.9	40.6
(14)その他記述記述	11.6	10.3	12.1	13.8	9.4
回 答 者 数 (人)	174	51	123	86	88
問 4 現在まで備蓄できなかった(しなかった)理由(複数回答)					
(1)費用がかかる	10.3	9.8	10.6	14.0	6.8
(2)行政が用意すべきである	2.3	2.0	2.4	1.2	3.4
(3)救援物資が届くと思う	8.6	7.8	8.9	5.8	11.4
(4)定期的に取り替えるため手間がかかる	42.5	45.1	41.5	29.1	55.7
(5)備蓄が必要であると思うが、ついめんどうになってしまう	64.9	54.9	69.1	69.8	60.2
(6)置き場所がない	16.7	21.6	14.6	17.4	15.9
(7)その他	16.7	17.6	16.3	23.3	10.2
回 答 者 数 (人)	190	58	132	94	96
問 5 近隣の要援護者の救援や救助に協力できること					
(1)要援護者の安否の確認					

集 計 表 (%)					
危 機 管 理 に つ い て	全 員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
できる	25.3	34.5	21.2	22.3	28.1
なんとかできそう	44.7	43.1	45.5	41.5	47.9
わからない	20.0	17.2	22.7	25.5	16.7
できそうもない	6.3	3.4	7.6	7.4	5.2
できない	2.6	1.7	3.0	3.2	2.1
(2)火災発生時の初期消火活動					
できる	20.5	36.2	13.6	20.2	20.8
なんとかできそう	43.2	36.2	46.2	38.3	47.9
わからない	21.6	20.7	25.0	26.6	20.8
できそうもない	7.9	3.4	9.8	9.6	6.3
できない	4.7	3.4	5.3	5.3	4.2
(3)避難誘導の手助け					
できる	20.0	27.6	16.7	18.1	21.9
なんとかできそう	44.2	46.6	43.2	42.6	45.8
わからない	18.9	19.0	22.7	22.3	20.8
できそうもない	9.5	1.7	12.9	11.7	7.3
できない	4.7	5.2	4.5	5.3	4.2
(4)ケガ人への応急手当					
できる	11.6	15.5	9.8	10.6	12.5
なんとかできそう	32.6	20.7	37.9	38.3	27.1
わからない	30.5	39.7	31.8	29.8	38.5
できそうもない	15.8	17.2	15.2	16.0	15.6
できない	5.8	6.9	5.3	5.3	6.3
(5)病院への搬送					
できる	7.9	15.5	4.5	8.5	7.3
なんとかできそう	22.1	20.7	22.7	24.5	19.8
わからない	28.9	41.4	29.5	29.8	36.5
できそうもない	23.7	13.8	28.0	21.3	26.0
できない	13.2	8.6	15.2	16.0	10.4
(6)倒壊家屋からの救出救助					
できる	7.4	15.5	3.8	5.3	9.4
なんとかできそう	27.9	36.2	24.2	22.3	33.3
わからない	30.0	29.3	32.6	36.2	27.1
できそうもない	22.1	10.3	27.3	25.5	18.8

集 計 表 (%)					
危 機 管 理 に つ い て	全 員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
できない	11.1	8.6	12.1	10.6	11.5
問 6 災害時のペットの扱い					
(1) ペットを連れていく人も連れていかない人も一緒に教室に避難する	6.8	6.9	6.8	4.3	9.4
(2) ペットを連れていく人と連れていかない人とは分けて、別の教室で避難する	35.8	24.1	40.9	41.5	30.2
(3) 小さなペットであれば、ペットを連れていかない人と一緒に教室でもよい	12.1	10.3	12.9	8.5	15.6
(4) ペットは校舎には入れないで校庭の一部分に避難させる	34.7	50.0	28.0	34.0	35.4
(5) ペットは学校の敷地内には入れない	4.7	5.2	4.5	2.1	7.3
(6) その他	5.3	3.4	6.1	8.5	2.1
無回答	0.5	-	0.8	1.1	-
問 8 住んでいる地域の治安					
(1) 治安は大変よい	1.1	-	1.5	1.1	1.0
(2) 治安はよい方だ	27.4	44.8	19.7	12.8	41.7
(3) どちらでもない	23.7	17.2	26.5	21.3	26.0
(4) 治安は悪い方だ	39.5	29.3	43.9	52.1	27.1
(5) 治安はかなり悪い	7.9	8.6	7.6	11.7	4.2
無回答	0.5	-	0.8	1.1	-
回 答 者 数 (人)	90	22	68	60	30
問 9 住んでいる地域の治安が悪いと思う理由 (複数回答)					
(1) 喧嘩や暴力事件があった	26.7	45.5	20.6	28.3	23.3
(2) 空き巣・ひったくりが多い	63.3	50.0	67.6	60.0	70.0
(3) 不審者を見かけることがある	38.9	27.3	42.6	41.7	33.3
(4) 青少年の非行をよく見かける	35.6	40.9	33.8	31.7	43.3
(5) 放火事件があった	31.1	31.8	30.9	30.0	33.3
(6) 外灯が少なく、夜の帰宅途中不安を感じる	30.0	27.3	30.9	31.7	26.7
(7) その他	36.7	31.8	38.2	35.0	40.6
回 答 者 数 (人)	190	58	132	94	96
問10 治安悪化の原因(複数回答)					
(1) 家庭・学校などのしつけや教育の問題	61.1	72.4	56.1	58.5	63.5
(2) 警察官の不足や不在交番の増加	23.2	29.3	20.5	25.5	20.8
(3) 地域社会での人間関係の希薄化	53.7	51.7	54.5	57.4	50.0
(4) 不法滞在する外国人の増加	32.6	27.6	34.8	27.7	37.5
(5) 有害図書・ビデオなどの氾濫	13.7	10.3	15.2	8.5	18.8

集 計 表 (%)					
危 機 管 理 に つ い て	全 員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(6)その他	11.6	10.3	12.1	14.9	8.3
問11 住んでいる地域の今後の治安についての不安(複数回答)					
(1)侵入窃盗(ピッキングなど)	85.3	82.8	86.4	86.2	80.4
(2)路上窃盗(ひったくり、車上狙いなど)	75.8	65.5	80.3	76.6	75.0
(3)暴力犯罪	35.3	48.3	29.5	34.0	36.5
(4)薬物犯罪・薬物乱用	17.9	22.4	15.9	12.8	22.9
(5)青少年の非行・犯罪	66.3	72.4	63.6	61.7	70.8
(6)児童等の誘拐	53.2	36.2	60.2	73.4	33.3
(7)放火	60.5	60.3	60.6	66.0	55.2
(8)園内・小中学校内への不審者の侵入	39.5	24.1	46.2	55.3	24.0
(9)特にない	1.1	1.7	0.8	-	2.1
(10)その他	4.7	10.3	2.3	3.2	6.3
問12 防犯のためにしていること(複数回答)					
(1)暗い場所や人気のない所は迂回するようにしている	67.4	48.3	75.8	67.0	67.7
(2)非常ベルなどの防犯グッズを携帯している	8.4	6.9	9.1	10.6	6.3
(3)自転車などにひったくり防止ネットを付けている	40.0	37.9	40.9	28.7	51.0
(4)ドアの施錠を頑丈なものにする等工夫を施している	32.1	34.5	31.1	34.0	30.2
(5)自宅の窓に格子を増やしたり、フィルムを張っている	9.5	15.5	6.8	9.6	9.4
(6)テレビドアホンや防犯カメラ、センサーライトなどを設置している	14.7	13.8	15.2	19.1	10.4
(7)警備会社と契約している	3.7	5.2	3.0	4.3	3.1
(8)何もしていない	12.1	19.0	9.1	11.7	12.5
(9)その他	12.1	19.0	9.1	9.6	14.6
問13 児童生徒に対して、家庭で行うことが必要な防犯対策(複数回答)					
(1)子どもと犯罪について話し合う	52.6	46.6	55.3	56.4	49.0
(2)学校との連絡を緊密にする	32.1	37.9	29.5	27.7	36.5
(3)お子さんの交友関係についてよく知っておく	56.8	56.9	56.8	50.0	63.5
(4)門限時間を決めておく	29.5	29.3	29.5	26.6	32.3
(5)夜間子どもだけで外出をさせない	70.0	67.2	71.2	71.3	68.8
(6)夜遅く塾などから帰る時は必ず迎えに行く	21.1	20.7	21.2	18.1	24.0
(7)防犯グッズを持たせる	23.7	24.1	23.5	28.7	18.8
(8)携帯電話を持たせる(連絡用として)	11.1	13.8	9.8	9.6	12.5
(9)その他	5.3	10.3	3.0	5.3	5.2
問14 地域の治安を保つために効果的な、地域でできる取り組み(複数回答)					
(1)地域で防犯・防火パトロールを行う	69.5	75.9	66.7	67.0	71.9

集 計 表 (%)					
危 機 管 理 に つ い て	全 員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(2) 学校・PTAとの協力体制を強化する	26.8	25.9	27.3	23.4	30.2
(3) 日頃から地域活動へ積極的に参加し、地域との交流を深める	30.5	43.1	25.0	23.4	37.5
(4) 防犯・防火に関する講演会などを開催する	9.5	10.3	9.1	8.5	10.4
(5) 近隣の人との挨拶や子どもに対しての声かけを行う	63.7	60.3	65.2	60.6	66.7
(6) 商店街などに防犯カメラを設置する	30.0	32.8	28.8	39.4	20.8
(7) 街灯を増設する	42.1	43.1	42.4	44.7	40.6
(8) その他	6.3	3.4	7.6	10.6	2.1